

⑧ 本年度の教育は…

昭和42年4月、生駒北中学校に転勤しました。教員になって10年目の春でした。春休み中に開かれた第1回職員会議、S校長先生は大きな模造紙を取り出されました。教頭先生の手で掲示されたその紙には、その年の教育目標が書かれていました。

「昨年度の反省の上に、このような目標を設定しました。これに基づいて計画を立て、実践し、成果を上げ、年度末には評価していきたいと思います」

と、私たち1人1人の顔を見つめて、お話になりました。

「P・D・S、計画し、実践し、評価をする」よく聞くことですが、こうしたことを明確に示されたS先生の笑顔が今も目に浮かびます。

それから25年が過ぎ、生駒小学校に勤務することになったとき、私は、「今年、大切にしたいこと」というプリントを配布して、私なりにその年度の教育についての思いを示すことにしました。これは毎年の恒例行事になりました。次にあげたのは、平成7年4月5日の職員会議で配布したものです。

1 教育の目的をしっかりとらえた実践をすすめること

—教育基本法第1条—

教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたっどび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

2 「これだけはぜひとも……」ということ

- (1) きちんとあいさつできる子どもを→そのために、私たち自身から声かけを。

(2) 元気に遊べる子どもを→「わくわくタイム」には、共に体を動かしたい。

(3) 学校をきれいにする子どもを→清掃を充実し、傘のくるくる巻きの徹底を。

3 子ども1人1人を大切にすること

子ども1人1人を大切にし、よりよく成長させたい。そのためにも、子どもの人権を尊重することは当然であるが、人格の完成のために必要な指導は的確に行わなければならない。そうした取り組みに遠慮があってはならない。

4 明確なめあてをもってきちんと指導すること

その日、その時の明確なめあてをもって指導を進めたい。そして、「できなかったことができるようになった。上手になった」といえる教育を追求し、子ども自身の学ぶ力、学ぶ心を育てたい。

5 子どもをよく見つめること

子どもが自分をさらけだすのは、遊び・掃除・給食など授業以外の時間である。こんな時間の子どもとの触れ合いを大切にしてほしい。そんなときのちょっとした一言が子どもを育てていく。

6 互いの連携を大切にすること

組織を生かして、目的を達成したい。そのために互いの共通理解を大切にし、教頭や主任、教科・領域のリーダーと十分に相談しながらことにあたり、各学年や各部・各係の間の調整を図り、教育活動をスムーズに進めてほしい。

7 教師自身が毎日成長すること

「進みつつある者のみ人を教える権利あり」と聞く。この学校には、実践を積み重ねてきたなかまがいる。「人みな我が師」の心で互いに学び合いたい。

子どもも私たちも生き甲斐を感じ、みんなの力で楽しく暮らせる学校を創りだしていくそんな1年にし、生駒小学校教育を一層推進していこうと話しました。

1は公教育として法に基づいて進めていくことの大切さです。2は今年の重点ともいえます。3は「子ども1人1人を大切に」の意味を取り違えてはならないということです。4は毎週、毎日、毎時のめあてを明確にしたいという思いです。5は学級担任制の小学校の特質を生かした指導であり、小学校教育が挙げている大きな成果のもととなっていることがらです。6は生駒小学校のすばらしさです。組織がうまく生かされているのです。個人と組織がうまく絡み合い指導の成果をあげているのです。7は私が自分自身に言ってきたことがらです。

「なんだ、当たり前のことを書いてるだけじゃないか」

「そんな文書1つで学校教育が変わるものじゃないよ。甘いね」

そんな声も聞こえてくるように思います。

でも、今年は…という思いを継続させ、みんなのものとしていくために必要なことではないでしょうか。こうした言葉を引用して学級経営を考えてくれている先生がいました。「わくわくタイム」と名付けた2限と3限の間の20分休憩の時間、子どもたちに混じって運動場で遊ぶ先生がありました。

「押しくらまんじゅうで一汗かいてきたよ」

「寒いけど子どもたちは元気。なわとびもずいぶん上手になったよ」

こんな声が聞こえる日が多くなりました。

7つ目の教師自身の研修では、1人1授業が貫かれました。

「こんなやり方はどうだろうか」という提案を具体的に示す授業、研究の質は高まりました。年度末には、その成果を収録したB5判約200

ページの研究紀要が全職員に配布されます。さらに、平成6年には研修部から、「毎回の授業の概要、事後に論議したことがら、そして得た結論をまとめ、速報の形で提供するようにしてはどうか」という提案がありました。

「本年度の目標に沿った取り組みだろう」

「大変だろうけど、やってみよう」

と実行に移され、授業研究の翌日には、同学年か所属する部のメンバーが作成した「研修だより」が机上に置かれるようになりました。

授業を公開するのは、私も同じことです。生駒小学校に着任した平成4年度に始めました。授業の対象は卒業を間近にした6年生4クラス、各担任から1時間をもらいました。私は、定年退職まで4年しかない、専科担当の教科は除く、1時間で完結する、という3つの条件から、国語、社会、算数、理科の4つの教科にしぼり、前日には指導案を配布し、授業を見てもらいました。その内容は、次のとおりです。

○ 国語…M. C. エッシャーのだまし絵の1つを見せ、世の中には不思議がいっぱいあることを感じさせました。そして、学校図書館にあった「地震を予知した動物たち」の概要を紹介し、「いよいよ中学生、これからも本に親しむ生活を続け、多くの知識、知恵を学び、自分の生き方を考えて欲しい」と話しました。

○ 社会…授業の初めにF先生の詩謡・曲譜集のタイトルとなった歌

「まわる宇宙船」の2重唱を聴きました。そして、

「ぼくらが生まれ ぼくらがそだった ふるさとは

みどりの地球だ 宇宙船 まわる まわる まわる

まわる宇宙船に のっかって

ふれあう よりそう なつかしさ あったかさ」

という歌詞から「まわる宇宙船」の意味を考えさせ、「地球は自分た

ちだけのものではない。すべての生物のものであり、未来の人たちや未来の生物から預かっている財産である」ことに気づかせました。

○ 算数…最近、テレビや新聞で報道されるニュースに登場し、そう大きくは思っていない1億のほんとうの大きさを考えさせました。こうしたことの理解は、宇宙の大きさ、地質時代の長さ、原子や分子、イオンの小ささを知り、こんな大きなものから小さなものまでを考えることのできる人間のすばらしさを感じとることにつながるのです。

○ 理科…「砂糖と食塩を見分けよう」をテーマに多様な方法を考えさせました。子どもの疑問や発想に基づいた授業を展開するために、たくさんの検証実験を準備しました。算数と理科の授業の詳細は「やっぱり理科は面白い」に書いたとおりです。

「研検だより」特別号

2月5日発行 校長先生の機軸

砂糖と食塩を見分けよう

☆授業の狙い
 ① 物質はそれぞれ異なる性質があることに気づき、外観で見分けのつかない物質でも、それぞれ異なる性質を認めることにより判別することができることを理解する。
 ② 砂糖と食塩を見分ける学習を通して、小学校の5年間に学んだ理科の知識を定着させる。

☆授業の展開
課題を提示 砂糖と食塩の見分け方を考えよう。

☆20分以内「砂糖と食塩の外見上の観察」として、判別する。

① 砂糖と食塩とを互いに見せよう。
 ② 砂糖と食塩とを互いに見せよう。
 ③ 砂糖と食塩とを互いに見せよう。

④ これは、どうですか？(砂糖は、水溶解を指示する。)
 ⑤ 色が異なるから、色で判別できるのではないですか。 ⑥ 匂いがないから、匂いで判別できるのではないですか。 ⑦ 匂いがないから、匂いで判別できるのではないですか。

☆30分「方法を発表する」

① 色で判別する。 ② 匂いで判別する。 ③ 色で判別する。 ④ 匂いで判別する。 ⑤ 色で判別する。 ⑥ 匂いで判別する。 ⑦ 色で判別する。 ⑧ 匂いで判別する。 ⑨ 色で判別する。 ⑩ 匂いで判別する。 ⑪ 色で判別する。 ⑫ 匂いで判別する。 ⑬ 色で判別する。 ⑭ 匂いで判別する。 ⑮ 色で判別する。 ⑯ 匂いで判別する。 ⑰ 色で判別する。 ⑱ 匂いで判別する。 ⑲ 色で判別する。 ⑳ 匂いで判別する。 ㉑ 色で判別する。 ㉒ 匂いで判別する。 ㉓ 色で判別する。 ㉔ 匂いで判別する。 ㉕ 色で判別する。 ㉖ 匂いで判別する。 ㉗ 色で判別する。 ㉘ 匂いで判別する。 ㉙ 色で判別する。 ㉚ 匂いで判別する。 ㉛ 色で判別する。 ㉜ 匂いで判別する。 ㉝ 色で判別する。 ㉞ 匂いで判別する。 ㉟ 色で判別する。 ㊱ 匂いで判別する。 ㊲ 色で判別する。 ㊳ 匂いで判別する。 ㊴ 色で判別する。 ㊵ 匂いで判別する。 ㊶ 色で判別する。 ㊷ 匂いで判別する。 ㊸ 色で判別する。 ㊹ 匂いで判別する。 ㊺ 色で判別する。 ㊻ 匂いで判別する。 ㊼ 色で判別する。 ㊽ 匂いで判別する。 ㊾ 色で判別する。 ㊿ 匂いで判別する。

て覚えておきたい点(砂糖と食塩)をまとめる。

① 砂糖は甘い。 ② 食塩はしょっぱい。 ③ 砂糖は白い。 ④ 食塩は白い。 ⑤ 砂糖は甘い。 ⑥ 食塩はしょっぱい。 ⑦ 砂糖は白い。 ⑧ 食塩は白い。 ⑨ 砂糖は甘い。 ⑩ 食塩はしょっぱい。 ⑪ 砂糖は白い。 ⑫ 食塩は白い。 ⑬ 砂糖は甘い。 ⑭ 食塩はしょっぱい。 ⑮ 砂糖は白い。 ⑯ 食塩は白い。 ⑰ 砂糖は甘い。 ⑱ 食塩はしょっぱい。 ⑲ 砂糖は白い。 ⑳ 食塩は白い。 ㉑ 砂糖は甘い。 ㉒ 食塩はしょっぱい。 ㉓ 砂糖は白い。 ㉔ 食塩は白い。 ㉕ 砂糖は甘い。 ㉖ 食塩はしょっぱい。 ㉗ 砂糖は白い。 ㉘ 食塩は白い。 ㉙ 砂糖は甘い。 ㉚ 食塩はしょっぱい。 ㉛ 砂糖は白い。 ㉜ 食塩は白い。 ㉝ 砂糖は甘い。 ㉞ 食塩はしょっぱい。 ㉟ 砂糖は白い。 ㊱ 食塩は白い。 ㊲ 砂糖は甘い。 ㊳ 食塩はしょっぱい。 ㊴ 砂糖は白い。 ㊵ 食塩は白い。 ㊶ 砂糖は甘い。 ㊷ 食塩はしょっぱい。 ㊸ 砂糖は白い。 ㊹ 食塩は白い。 ㊺ 砂糖は甘い。 ㊻ 食塩はしょっぱい。 ㊼ 砂糖は白い。 ㊽ 食塩は白い。 ㊾ 砂糖は甘い。 ㊿ 食塩はしょっぱい。

☆子どもの疑問

- ① 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ② 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ③ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ④ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑤ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑥ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑦ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑧ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑨ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑩ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑪ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑫ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑬ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑭ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑮ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑯ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑰ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑱ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ⑲ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ⑳ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉑ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉒ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉓ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉔ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉕ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉖ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉗ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉘ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉙ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉚ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉛ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉜ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉝ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㉞ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㉟ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊱ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊲ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊳ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊴ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊵ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊶ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊷ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊸ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊹ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊺ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊻ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊼ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊽ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。
- ㊾ 色が同じだから、色で判別できないのではないですか。
- ㊿ 匂いがないから、匂いで判別できないのではないですか。

☆授業の展開

① 砂糖と食塩とを互いに見せよう。
 ② 砂糖と食塩とを互いに見せよう。
 ③ 砂糖と食塩とを互いに見せよう。

④ これは、どうですか？(砂糖は、水溶解を指示する。)
 ⑤ 色が異なるから、色で判別できるのではないですか。 ⑥ 匂いがないから、匂いで判別できるのではないですか。 ⑦ 匂いがないから、匂いで判別できるのではないですか。

☆30分「方法を発表する」

① 色で判別する。 ② 匂いで判別する。 ③ 色で判別する。 ④ 匂いで判別する。 ⑤ 色で判別する。 ⑥ 匂いで判別する。 ⑦ 色で判別する。 ⑧ 匂いで判別する。 ⑨ 色で判別する。 ⑩ 匂いで判別する。 ⑪ 色で判別する。 ⑫ 匂いで判別する。 ⑬ 色で判別する。 ⑭ 匂いで判別する。 ⑮ 色で判別する。 ⑯ 匂いで判別する。 ⑰ 色で判別する。 ⑱ 匂いで判別する。 ⑲ 色で判別する。 ⑳ 匂いで判別する。 ㉑ 色で判別する。 ㉒ 匂いで判別する。 ㉓ 色で判別する。 ㉔ 匂いで判別する。 ㉕ 色で判別する。 ㉖ 匂いで判別する。 ㉗ 色で判別する。 ㉘ 匂いで判別する。 ㉙ 色で判別する。 ㉚ 匂いで判別する。 ㉛ 色で判別する。 ㉜ 匂いで判別する。 ㉝ 色で判別する。 ㉞ 匂いで判別する。 ㉟ 色で判別する。 ㊱ 匂いで判別する。 ㊲ 色で判別する。 ㊳ 匂いで判別する。 ㊴ 色で判別する。 ㊵ 匂いで判別する。 ㊶ 色で判別する。 ㊷ 匂いで判別する。 ㊸ 色で判別する。 ㊹ 匂いで判別する。 ㊺ 色で判別する。 ㊻ 匂いで判別する。 ㊼ 色で判別する。 ㊽ 匂いで判別する。 ㊾ 色で判別する。 ㊿ 匂いで判別する。

私の最後の授業・理科は、T先生が初任者研修の課題の1つとしてまとめてくれ、「研検だより」特別号として配布されました。